



懐かしい秋の香りに包まれてー

涌谷町の風土が育んだ宮城県の酒造好適米「蔵の華」を  
40%磨きで醸造する涌谷町の純米大吟醸が、  
令和3年2月に誕生します。

## 涌谷町黄金大使・安野希世乃さん

# プロデュースの純米大吟醸「稀世」



《プロフィール》  
安野希世乃(Yasuno Kiyono)  
宮城県涌谷町出身。2011年  
に劇場アニメ「キズナ撃  
轟キズナ役で声優デビュー。  
エイベックス・ピクチャー  
ズ所属。2017年にはフラ  
イグドッグから歌手デ  
ビュー。令和2年1月から涌  
谷町黄金大使を務めていま  
す。

令和2年1月に、涌谷町黄  
金大使に就任された安野希世  
乃さんのプロデュースにより、  
涌谷町小売酒販組合と涌谷町  
が連携し、涌谷町産「蔵の華」  
100%で純米大吟醸を醸造  
することとなりました。

二のお酒になってほしい」と  
いう安野さんの願いが込めら  
れています。

「稀世」を醸造する蔵元は、  
石巻市の平孝酒造。主要銘柄  
の「日高見」で、令和元年度  
と令和2年度に、2年連続で  
宮城県清酒鑑評会で最高賞の  
宮城県知事賞を受賞していま  
す。

ラベルは、凧として洗練さ  
れた女性をイメージ。一輪の  
桜を中心に、均一に水面に広  
がる波紋と流れるような書体  
で書かれた「稀世」でデザイ  
ンされています。





④



③

純米大吟醸「稀世」の醸造に向けて動き出したのは、今年の4月。浦谷町の日本酒「黄金傳」の時から「蔵の華」の生産に協力いただいていた農事組合法人UPファームに、純米大吟醸「稀世」に使う「蔵の華」の栽培を依頼しました。

田植えから安野希世乃さんに携わっていただく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で来町が困難となり、生産者の皆さんと遠藤町長、浦谷町職員が豊作を祈りながら田植えを行いました。



⑧



⑦



⑤



⑥

《安野希世乃さんインタビュー》  
初めての稲刈りで、昔の手刈りの大変さを感じながら、稲刈りの文化に初めてふれつつ、田んぼの匂いに懐かしさを感じた安野さん。

「幼少期から浦谷で育ってきたのですが、秋の匂いが印象的でした。煙ったような、葉っぱの枯葉の匂いというか、ずっとこの匂いと共に育ってきたんだなと、久しぶりに嗅いでぐっと懐かしい気持ちになりました。改めて、大好きな故郷の匂いだと思いました」。



⑨

大切に飲みます。  
だから、おいしくなってるね♪

【写真解説】

①自らの手で刈った稲を掲げ収穫の喜びを実感②純米大吟醸「稀世」のデザインイメージ。安野さんが選んだ水色を基調とした洗練された女性をイメージ③田植えを前に豊作を祈願しご祈祷④安野さんの分も生産者・職員一同頑張りました⑤遠藤町長と実りを確認⑥手刈りの方法を生産者から指導を受ける安野さん⑦コンバインの運転にも挑戦⑧鎌を使って自らの手で一束一束丁寧に刈り取っていききました⑨収穫された「蔵の華」に美味しいお酒になってほしいと願いを込める安野さん

《「稀世」の販売について》

令和3年2月に、浦谷町小売酒販組合加盟店で発売予定。事前予約は、令和3年1月から受付を開始する予定です。詳細は、後日浦谷町ホームページに掲載します。

また、令和2年11月1日から浦谷町ふるさと納税の返礼品として、事前申込の受付を開始します。

▼問い合わせ先 企画財政課 企画班 ☎43-21112



涌谷南幼稚園

# ん・こども園 うかい

せんでしたが、子ども  
たちは、時に真剣に、  
時にはつらつと競技に  
臨んでいました。



涌谷幼稚園





ののだけ幼稚園

町立ようちえ  
うんど

新型コロナウイルス  
感染症の影響により、  
競技種目や参観者の縮  
小をしなければなりま

さくらんぼこども園

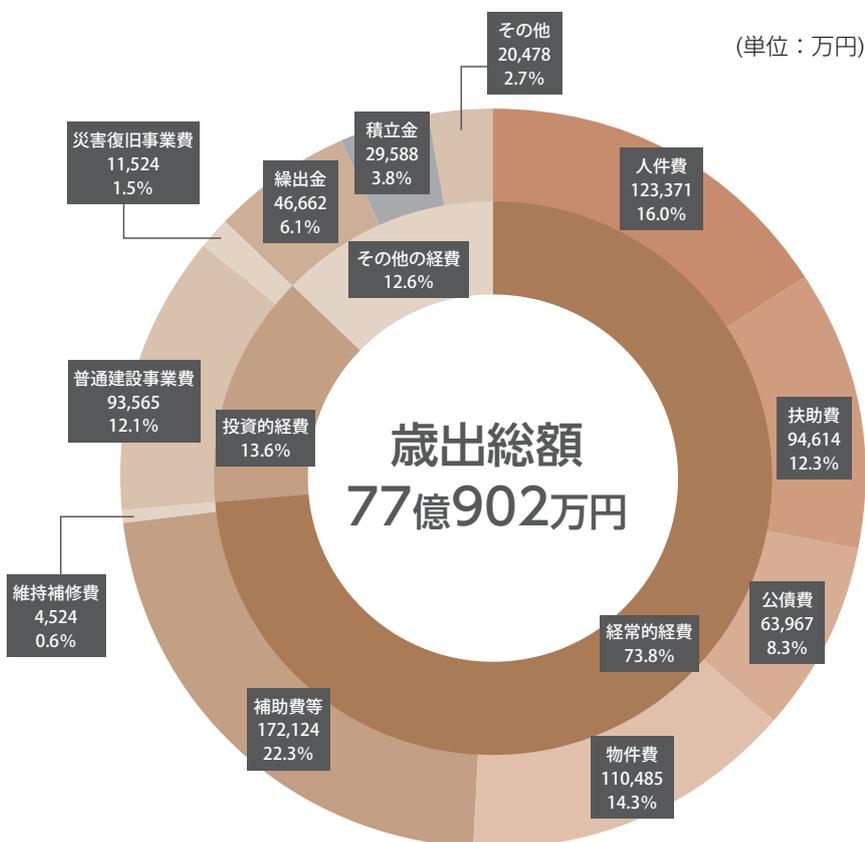


## 《一般会計決算のあらまし》

令和元年度、皆さんに納めていただいた税金をはじめ、国や県から町にいくらお金が入り、どのように使われたかなど、町の財政状況をお知らせします。

令和元年度の一般会計決算は、歳入(収入)総額78億4,812万円、歳出(支出)総額77億902万円となり、令和元年度に繰り越す財源を差し引いた7,947万円が剰余金(実質収支額)となりました。この剰余金を令和2年度予算に繰り越したのち、地方財政法の規定に基づき、2分の1相当の4,000万円を令和2年度基金(町の貯金)に積み立てます。

歳出は、大崎地域広域行政事務組合への負担金の減額などはあったものの、台風第19号に係る災害復旧事業のほか、児童クラブの新築事業や幼稚園・小・中学校空調設備整備事業、わくや天平の湯および高齢者福祉複合施設ゆうらいふの設備改修を実施したことなどで、前年度より3億2,429万円増加した決算となりました。



※表示・単位未満を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

- 「県営ほ場整備事業」の推進のほか銘柄米「金のいぶき」の販売促進活動や地域ブランド米としての確立・定着を推進。
- 涌谷第一小学校敷地内に「わくわくスマイル児童クラブ」を新築。
- わくや天平の湯および高齢者福祉複合施設ゆうらいふの設備改修を実施。
- 幼稚園・小・中学校の空調設備整備事業を実施し、教育環境を整備。

### 町民1人当たりの歳出 (一般会計) 487,789円 補助費等

108,912円(各種団体への負担金や補助金など)

### 人件費

78,063円(町職員の給与や議員報酬など)

### 物件費

69,910円(光熱水費、消耗品費、業務委託料などの費用)

### 扶助費

59,867円(障害者支援、医療費助成など福祉の費用)

### 普通建設事業費

59,203円(道路、学校などの新設・改修の費用)

### 公債費

40,475円(借入金の返済に係る元金と利子)

### 繰出金

29,525円(国民健康保険など他の会計への繰出金)

### 積立金

18,722円(将来の財源変動に備え積み立てるお金)

### その他

12,957円(企業会計への出資や貸付金)

### 災害復旧事業費

7,292円(災害復旧の費用)

### 維持補修費

2,863円(道路、公共施設などの維持補修の費用)

※町民1人当たりの歳出額は、令和2年3月31日現在の人口15,804人で計算しています。

# 令和元年度涌谷町

# 決算をお知らせします

## 町税

町民税	5億9,650万円
固定資産税	7億5,045万円
軽自動車税	5,776万円
町たばこ税	1億4,121万円

合計 15億4,592万円

## 諸収入

預金利子や雑入など

## 繰入金

町の貯金から引き出したお金

## 繰越金

前年度に残ったお金

## 使用料・手数料

公共施設の利用料金や住民票の写しの交付手数料など

## 地方交付税

国税のうち町に対して交付されるもの

## 町債

町が国や銀行から借りたお金

## 国庫支出金

使い道が特定される国が町に対して支出したお金

## 県支出金

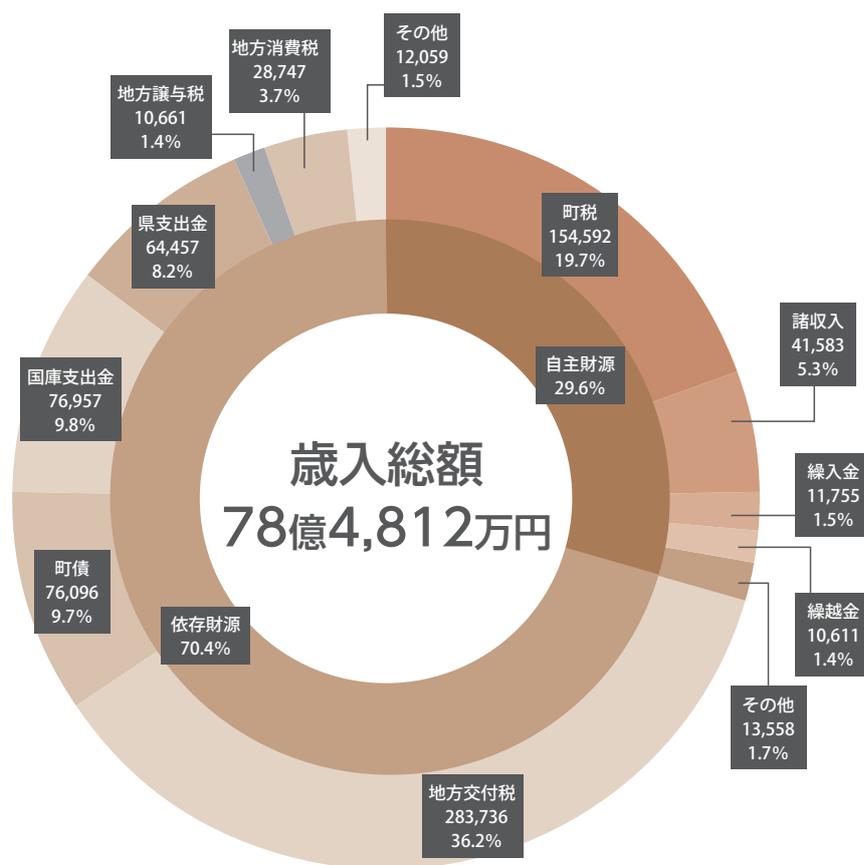
県が町に対して支出したお金

## 譲与税

国税・県税のうち町に対して交付されるもの

## 地方消費税

消費税のうち町に対して交付されるもの



歳入は、自主財源の町税が約2,300万円減収したことなどから減少し、構成比は全体の29.6%になり、依存財源は国庫支出金や県支出金などが増加したことで構成比は70.4%になりました。

歳入全体では、国庫支出金や県支出金などの増加により前年度から3億5,727万円増加した決算となりました。

## 【令和元年度に実施した主な事業】

- ふるさと納税の返礼品の新規開拓と充実。
- 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の情報発信を目的としたホームページの構築、外国人観光客の受入れ環境を整備。
- 妊婦歯科健康診査、風しん第5期予防接種を実施。
- 八雲住宅の長寿命化のため外壁改修工事を実施。

## 特別会計・企業会計の決算状況

### 企業会計

会計名	収入	支出
<b>国民健康保険病院事業会計</b>		
<収益的収支>	18億5,986万2千円	20億7,877万5千円
<資本的収支>	8,315万7千円	1億3,886万2千円
患者数 入院 33,551人(年間延)(1日平均 91.7人)		
外来 45,962人(年間延)(1日平均 189.9人)		
<b>老人保健施設事業会計</b>		
<収益的収支>	5億566万4千円	5億959万4千円
<資本的収支>	2,866万円	2,865万9千円
入所者数 28,073人(年間延)(1日平均 76.7人)		
通所者数 10,043人(年間延)(1日平均 32.2人)		
<b>訪問看護ステーション事業会計</b>		
<収益的収支>	5,218万7千円	5,188万5千円
<資本的収支>	—	1,433万1千円
訪問看護利用者数 3,305人(年間延)(1日平均 11.5人)		
訪問リハ利用者数 3,034人(年間延)(1日平均 12.6人)		
<b>水道事業会計</b>		
<収益的収支>	4億4,136万4千円	4億740万8千円
<資本的収支>	1,822万1千円	1億3,337万9千円
・給水人口 15,303人	・年間配水量 1,543,553m <sup>3</sup>	
・給水戸数 5,984戸	・年間有収水量 1,279,011m <sup>3</sup>	
<b>下水道事業会計</b>		
<収益的収支>	5億916万9千円	4億9,006万円
<資本的収支>	2億3,271万2千円	3億6,919万8千円
・接続人口 6,068人	・年間処理水量 668,923m <sup>3</sup>	
・接続戸数 2,223戸	・年間有収水量 597,814m <sup>3</sup>	

### 特別会計

会計名	収入	支出
<b>国民健康保険特別会計</b>	21億7,965万9千円	21億3,852万7千円
・被保険者数		4,154人
・一人当たり費用額		399,659円
<b>後期高齢者医療保険特別会計</b>	1億7,443万円	1億7,101万3千円
・被保険者数		2,857人
<b>介護保険特別会計</b>	18億8,025万1千円	18億5,502万円
・1号被保険者数		5,779人
・要介護(要支援)認定者数		1,000人
・保険給付費		16億792万5千円



企業会計において、資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

## 健全化判断比率などの状況(令和元年度決算)

### (1) 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.00)	— (20.00)	10.5 (25.0)	52.3 (350.0)

※( )内は早期健全化基準です。実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字であるため「—」で表示しています。

### (2) 資金不足比率

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業会計	—	
国民健康保険病院事業会計	12.1	
老人保健施設事業会計	—	
訪問看護ステーション事業会計	—	

※地方公共団体の公営企業会計ごとの資金の不足額の度合いを表す指標で、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいわれています。20%以上で経営健全化団体となり公営企業の経営健全化を図る計画を策定しなければなりません。

令和元年度末現在の基金・公有財産の状況

基金

基金名	決算年度末現在高
財政調整基金	6億2,601万8千円
減債基金	5億7,590万9千円
震災復興基金	9,250万2千円
ふるさと涌谷創生基金	4,840万4千円
公営住宅用地取得基金	1,609万5千円
保健福祉基金	436万4千円
農業振興奨励基金	661万6千円
農業高齢者肉用牛貸付基金	9頭 0円
肉用牛特別導入事業基金	6頭 568万6千円
ふるさと水と土保全基金	1,128万9千円
森林環境整備基金	199万4千円
歴史文化基金	473万円
土地開発基金	327,774㎡ 3,445万8千円
国保会計財政調整基金	5億8,428万9千円
国保出産費資金貸付事業基金	300万円
介護保険給付基金	1億4,193万8千円
合計	21億5,729万2千円

公有財産(土地および建物)

区分	決算年度末現在高		
	土地(㎡)	建物(㎡)	
本庁舎	8,214.35	3,294.87	
医療福祉センター	57,098.53	3,430.05	
その他の行政機関	4,030.63	8,471.42	
	その他の施設	—	
公共用財産	学校	138,016.91	26,294.67
	公営住宅	58,250.32	16,251.40
	公園	131,518.04	415.10
	その他の施設	444,447.94	31,973.82
山林	947,487.00	—	
その他の施設および土地	1,312,476.33	9,645.39	
合計	3,101,540.05	99,776.72	

令和2年度執行状況

R2.9.30現在  
単位：千円

会計名		予算現額	収入済額		支出済額	
		(繰越額を含む)	金額	収入割合	金額	支出割合
一般会計		10,857,356	5,874,356	54.1%	5,038,970	46.4%
国民健康保険特別会計		1,979,547	829,004	41.9%	855,234	43.2%
後期高齢者医療保険特別会計		176,284	66,864	37.9%	63,407	36.0%
介護保険特別会計		1,868,506	786,351	42.1%	761,441	40.8%
水道事業会計	収益的収入	417,848	174,457	41.8%	—	—
	収益的支出	408,360	—	—	121,272	29.7%
	資本的収入	31,951	1,188	3.7%	—	—
	資本的支出	142,117	—	—	50,780	35.7%
下水道事業会計	収益的収入	484,397	179,534	37.1%	—	—
	収益的支出	484,397	—	—	70,035	14.5%
	資本的収入	284,040	69,589	24.5%	—	—
	資本的支出	418,210	—	—	167,720	40.1%
国民健康保険 病院事業会計	収益的収入	2,133,807	1,073,944	50.3%	—	—
	収益的支出	2,132,123	—	—	852,668	40.0%
	資本的収入	91,321	36,821	40.3%	—	—
	資本的支出	91,946	—	—	46,351	50.4%
老人保健施設 事業会計	収益的収入	521,082	257,124	49.3%	—	—
	収益的支出	532,481	—	—	222,699	41.8%
	資本的収入	29,877	19,918	66.7%	—	—
	資本的支出	30,081	—	—	14,969	49.8%
訪問看護ステーション事業会計	収益的収入	64,114	26,068	40.7%	—	—
	収益的支出	62,639	—	—	27,903	44.5%
	資本的収入	—	—	—	—	—
	資本的支出	9,959	—	—	—	—

この報告は「涌谷町財政事情書の作成及び公表に関する条例」により公表するものです。

▶問い合わせ先 企画財政課財政班 ☎43-2112・E-mail: gr-zaimu@town.wakuya.miyagi.jp

# 報告します 涌谷町財政再建計画の効果額を



令和元年度の  
効果額は  
**1.9億円**

涌谷町では、これまでの決算状況および平成31年度当初予算編成などから、今後の財政状況を推計したところ、数年後には財源不足に陥る可能性があることから、その問題を解消する具体的な計画として全38項目の「涌谷町財政再建計画」を昨年9月にまとめました。

この計画は、令和元年度から令和5年度までの5年間で見込まれる11億円を超える財源不足を解消するために、町民の皆さんや地域団体などに負担をお願いするとともに、これまでの行政サービスを見直すことにより、13億7,761万3千円の効果を見込むものとなっております。

計画初年度の令和元年度は1億6,333万3千円を見込んでいましたが、町と議会、町民の皆さんが一体となって取り組んだ結果、全38項目のうち23項目で効果を上げ、当初の見込みより2,784万4千円増の1億9,117万7千円の効果額となりました。

令和2年度以降も、財政再建へ向け計画の取り組みを確実に実行しつつ、計画以外の項目についても、将来の町のためになるものは積極的に検討・採用し、再建の取り組みを加速させていきます。



## 財政再建計画による効果額の見込みと実績

単位：千円

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	合計
財政再建を実施しない場合の不足額 [推計]	△196,230	△194,804	△243,720	△243,461	△288,539	△1,166,754
財政再建を実施した場合の効果額 [見込み] (A)	163,333	241,603	278,354	325,080	369,243	1,377,613
財政再建を実施した場合の効果額 [実績] (B)	191,177	—	—	—	—	191,177
効果額の増減 (B) - (A)	27,844	—	—	—	—	27,844
計画達成率 (B) ÷ (A)	117.0%	—	—	—	—	—